



たいき食品

くしま朝市「よかむん市」
毎月第3日曜日 朝7時～9時
場所：道の駅くしま
大屋根イベント広場

店主の富山 眞理子さん

ライター 大田 麻衣子



唯一無二のものがある。それは人だった。物だった。食べ物だった。母の味だ。愛情深く、温かく、落ち着く味。そして母の味以外にもう一つ思い浮かべるものがある。ふるさとの味だ。ふるさとの味も心が落ち着く。そして思い出も一緒によみがえる。懐かしのふるさとでの楽しい思い出。今回紹介するのは、朝市のお母さんの存在、たいき食品の富山眞理子さんだ。眞理子さんが作る料理もふるさとの味の一つだ。眞理子さんは、料理を作る際、分量を決めた作り方はしない。すべては眞理子さんの舌が決める。そうすることでもいつもどおりの味ができる。「自分で作ることで分量どおりではない料理を作ることによって私独自の味が出せる」と眞理子さん。自分のオリジナリティを大事にしてお客さんに真剣に向き合っている。自分にも真剣に向きあう。その姿勢は、お客さんにちゃんと伝わっている。「『眞理ちゃん作るものは、安心して食べられる』と言われたときは、うれしくて元気が出た」と眞理子さん。その時のうれしさは、眞理子さんにとって特別なものだろう。朝市で販売する天むす・カツサンド・いなり寿司は、作るのに3時間かかるという。その手間暇かけて作った思いを感じながら天むすをいただく。

時間が経ってしつとりとしたノリ。そのノリとお米が密着し、一つの料理として生まれ変わっている。塩が他の食材となじんでいて全てをまとめあげる。エビの天ぷらの油分がお米に新たなうま味を加えて舌を喜ばせる。朝から軽く2つはいただく。「やっぱり天むすと言えはこの味だな」朝市のにぎやかさの中で天むすが私の朝市の思い出の一つとして形成される。眞理子さんは、物づくりが大好きだ。それは、食べ物だけにとどまらない。今年、雑貨を扱う新たなブランド「ハナリマカナ」を2人の仲間とともに立ち上げた。3人は、それぞれ布・糸・人形を専門に扱う。その3人のセンスやこだわりが詰まった作品は、朝市でも購入することができる。糸を担当している眞理子さんは、「作った人だからこそ味わえる喜びがものづくりにはある」と語る。一つ一つの作品に愛情がこもっており、この作品もまた唯一無二だ。朝市での唯一無二の商品は、お客さんが手に取ることやがて懐かしさ、代えの利かない心を満たす物になるだろう。

大田 麻衣子

串間市役所 商工観光・スポーツ推進課職員
イベント・お祭り大好き女子。

今月の朝市のイベントは
しめ縄づくりです。

本号で最終回となります。
「愛読ありがとうございます」。

お知らせ

● 休館のご案内

図書館システム入れ替えのため、12月18日～1月3日まで休館いたします。12月1日からお1人20冊の貸し出しが可能となりますので、ご利用ください。
ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



「こども資源マップ」
柴田 明夫／監修

エネルギー資源、レアメタル、ベースメタル、貴金属、食料資源の各資源について自給率、輸出入の関係、埋蔵量などを図表で分かりやすく解説。日本の将来、持続可能な社会のために必要な資源とその重要性を学ぶ。



「雨露」
梶 陽子／著

慶応4年。鳥羽伏見の戦いで幕府軍を破った新政府軍が江戸に迫る。彰義隊は上野寛永寺に立てこもるが、わずか半日で敗北。なぜ、名もなき彼らは、無謀な戦いに身を投じたのか――。『小説幻冬』連載に加筆・修正。

イベント情報

「フラワーアレンジメント教室 クリスマスリースづくり」

- 日 時＝12月5日(火) 午前10時半～正午
- 場 所＝図書館2階会議室
- 参加費＝1,000円
- 定 員＝8人(要申し込み)

「クリスマスおはなし会」

- 日 時＝12月16日(土) 午後2時～
- 場 所＝図書館2階会議室



- 串間市立図書館
☎ 72-1177
- 開館＝午前10時～午後6時
- 休館日＝毎週月曜日
- H P ＝ <https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

新刊情報

- 半暮刻(月村了衛／著)
アマリとナイトブラザーズ(B.B.オールストン／作)
歌われなかった海賊へ(逢坂冬馬／著)
妖怪コンビニ3(令丈ヒロ子／著)
みんなで描こう!黒板アート(麻井深雪／著)
クニオ・パンプルーセン(乙川優三郎／著)
無人島ロワイヤル(秋吉理香子／著)
幽玄F(佐藤 究／著)
宙わたる教室(伊与原 新／著)
人生を抱きしめる(遠藤 周作／著)

市長コラム

第57回 串間市民秋まつり

今年には大きな災害がなく農産物も順調な豊作でありましたが、一方でかんきつ類では高温と水不足の影響で生育障害の被害がありました。また、海水温の上昇により、ブリが死ぬなど水産物にも被害がありました。人的被害がなかったことが何よりであります。

今年の元旦に初詣に行き、良い年になるようお願いしたところでしたが、今年もあつという間に過ぎ残り1カ月となりました。山の神様の行事として、1月に八百万の神様へ1年の豊作と安全を願う神事を行い、5月に田の神様として降神されて無事に豊作を見届け、9月に山に昇神される際に礼祭としてそれぞれの鎮守様に1年の感謝をするものがあります。

串間市の市制施行日である11月3日には、誕生祭のようなものでもある市民秋まつりがあり今年も開催されました。今年は、姉妹都市であるブラジル・イビウーナ市長が24年ぶりに訪問され、秋まつりに参加していただきました。また、姉妹都市である高鍋町にも今年も参加していただき、一段と盛り上がった祭りとなりました。

市民パレードに私も参加して、皆さまとたくさん接させていただきました。出し物の1つとして、邪気を払い安心安全

を祈願する獅子舞いが今年も行われ、それを見ている小さな子どもの怖くて泣きじゃくる姿がとてもかわいかったです。子どもたちの思い出に残ることでしょう。それぞれの時代の思い出はとも懐かしく一生の宝となっていくと思います。市民秋まつりは、市民の皆さまの良き思い出として残り、そしてこれからもさらに飛躍していく串間を創り出していく祭りとなることでしょう。

今年も残りわずかとなりました。来年はいよいよ市制施行70周年を迎えます。市民の皆さまにおかれましては、体調管理をしっかりとっていただき良いお年をお迎えください。

1年間ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いたします。



市民パレードの様子